

No. 1415

北炭夕張惨事

10月16日、北海道夕張市の北炭夕張新鉱で、死者43人、行方不明50人を出すガス突出事故が起った。戦後の炭鉱事故としては史上三番目の大惨事、事故附近は最近山鳴りが多く、またガスが多かったという。猛スピードで抗内を走り抜けたガスに、逃げる時間はなかった。ほんの数人が助かっただけだ。事務所にかけつけ、安否を気づかう家族。遅々として進まぬ救助作業に絶望の色が漂う。人影も見えず、ひっそりと静まりかえる炭鉱住宅街。聞えるのは、悲しみの泣き声だけだ。至る所、葬列が続く。政府のエネルギー政策で、国内炭の見直しが行なわれた、さ中、最新設備を誇った国内最有望の炭鉱であっただけに、安全対策が改めて問われている。

ルソーと素朴派の画家

東京・新宿の小田急グランドギャラリーでは、今、アンリー・ルソーと素朴派の画家たち展が開かれています。16世紀の終わりから今世紀の初めにかけて、フランスでは美術学校や画壇から離れて、自分自身の楽しみのために絵を描いた素朴な画が注目されるようになりました。中でもアンリ・ルソーの豊かな色彩に輝く作品は、高く評価され、我が国でも広く親しまれてきました。今回は、ルソーや素朴派の画家の作品90点を集めたもので、その全貌があますところなく展示されています。

ガンバレ江本君

— 国際アビリンピック —

愛知県・名古屋市に住む江本和博君30才。5才の時、発病し、以来不自由な体と闘いながら時計の修理を行っている。この道に入って10年のベテラン、日本時計師会公認高級時計師の資格を持つ。その技術は高く評価されているが、生活は決して楽ではない。細かい手先の仕事に疲れたら、レコードを聞くのが唯一の楽しみ、好きな歌手は久保田早紀だ。今、彼は手話を習っている。足は不自由でも手と口はなんともない。少しでも他の人の為にできることがあったら、何でもやりたいと言う。江本君は、2年前全国障害者技能競技大会で第1位、金賞を獲得している。その技術の確かさから、この程国際アビリンピックの選手に選ばれた。仲谷愛知県知事らに激励され大会会場の東京へ向う。

10月21日、東京体育館で世界50ヶ国から集まって国際アビリンピックが開催された。ガンバレ江本君。